

清純

協和

命

卒業証書授与式



仙北市

議会だより

No. 18  
平成22年4月号

# 平成22年度一般会計予算は 171億6,000万円を計上

## まちづくりに力強く踏み出す予算

**当初予算前年度比  
10億9,300万円減(△5.6%)**

「平成22年度は私が市民の皆様と約束したマニフェストを実行するために、職員一丸となって…」という門脇市長の所信表明で、2月17日に今任期最後の定例会の幕は開いた。

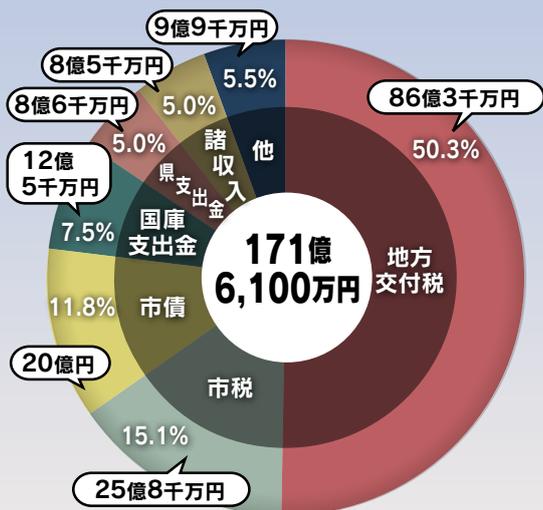
議員各位は春の選挙戦と冬季オリンピックが気になり、落ち着きがないのが目立った。

首長が変わるところも違ってくるのかと、自分の目を疑いたくなるような光景も見られた。何がそんなに変わったかであるが、かつてないほど議会対応が懇切丁寧であることが印象的である。

さらに短期間の中で、公約に掲げた新規の施策76事業、7億6,000万円を事業化したことである。「スピードをもって」という行政運営の公約も果たしたことになる。

心配な点は「職員一丸となって…」ということについてである。失礼だが、職員が市長についているかが心配である。

### 歳入グラフ



### 地方交付税、5億3,000万円の伸び

■深刻な景気・雇用情勢が続いている中、国の地方に配慮した財政対策により、地方交付税と臨時財政対策債が大幅に増額された。

仙北市はここ数年、当初予算編成にあたり、財政調整基金を取り崩してきたが、平成22年度は基金に頼ることなく、予算編成ができた。

「まちづくり」に力強く踏み出す予算に重点配分ができたことは、門脇丸の順調な船出と云ってよいと思う。

### 一般会計当初予算

171億6,100万円(前年度比△10億9,300万円、△6.7%)である。神代小学校建設や木質バイオマス施設建設など大型公共事業の減少による予算減である。

### 特別会計当初予算

11億4,700万円(前年度比△3億8,713万3千円、△33.3%)である。主な減額は下水道事業会計、集落排水事業会計の借換債や田沢地区集落排水事



財源確保に今年も悩むのか、仙北市税務課

### 企業会計当初予算

64億1,232万3千円(前年度費△8,789万9千円、△3.3%)である。水道事業会計の老朽管更新、監視システム整備事業の完了に伴うもの。

一般会計歳入の3本柱は地方交付税86億3,000万円(前年比6.5%増)。

うち普通交付税は国の地方財政対策により、5億3,000万円増額の81億3,000万円。なお特別交付税は前年度同額の5億円である。

市税は景気の低迷により落ち込みが激しい。また観光客の減少による入湯税の減少も続いている。

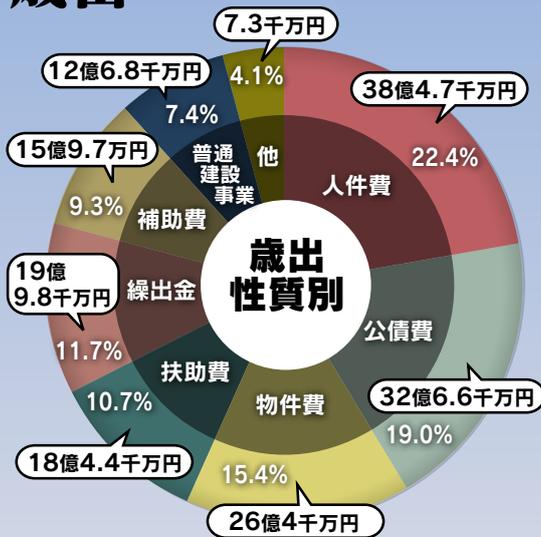
前年度比3%減の25億8,187万6,000円である。

市債は20億1,540万円。うち第二の交付税といわれる臨時財政対策債は11億5,000万円が、国の地方財政対策として措置された。

その他には国庫支出金が12億5,318万円(前年比(△7.1%)、県支出金8億6,173万円前年比(△29.0%)が措置された。

平成22年度当初予算の特長は、収支不足による財政調整基金からの繰り入れを必要としなかったことである。基金が補正予算の財源として留保できている財政実態は心強いといえる。

# 歳出グラフ(性質別歳出内訳)



## 人件費は38億4,754万円でトップ

■性質別歳出の構成比率でトップを占めるのは、何といても人件費である。退職者が多くなり、職員数が減少しているものの歳出全体の22・2%を占めて断然トップである。

前年度と対比すると1億4,487万円、3・6%減となっている。

次に支出の多いのは、借金返済の公債費で全体の19%で32億6,674万円である。これも繰り上げ償還などにより前年度より、3,797万円(△1・1%)の減少で

ある。今年度当初予算の元利償還見込み額は、28億1,655万円、年度末残高は25.4億5,108万円と見込んでいる。市民一人当たりの借金は平成22年度では82万円となる。なお平成21年度は84万6千円で2万6千円下がったこととなる。市長の公約は「一人当たりの借金を70万円台にする」だったが、目標達成はそんなに難しくないと考える。

3番目に多い支出は物件費の26億4,053万円(15・4%)である。これは前年対比5%増となっているが、木質バイ



2億700万円でやっと整備される西明寺中グラウンド

オマス施設管理費3,400万円の増である。扶助費は「子ども手当給付費3億9,611万円などにより約3億円が増となっている。

普通建設事業費は構成比が7・4%。前年度対比が14億7,600万円減(△53・8%)となった。神代小学校建設事業費の減少と木質バイオマスの建設事業の終了に伴う減である。

■目的別歳出の予算内訳の構成比をみると26,2%の民生費が44億9,936万円となっている。高齢化するにしたがって、社会保障費が高

がって、社会保障費が高くなっていくことがよくわかる。前年度比7・7%の伸びである。

次に多い公債費は説明したとおりである。

次は総務費の11・5%である。前年度に比較すると1億3,415万円(△6・4%)である。

次いで病院等に繰出される衛生費が11・4%となっている。19億5,200万円が措置された。

教育費は9・8%、土木費は7・1%。注目された農林水産費は構成比が4・7%8億1,98万円である。前年度比△45,8%、6億7,741万円の減は木質バイオ

マニフェスト政策予算に7億6,500万円

■緊急雇用等対策事業費に1億1,500万措置

労働費は前年度より約1億5千万円増額の2億3,490万円が予算措置された。今年度は臨時的、一時的就労機会の提供や安定的な雇用機会の創出を図る予算に充てられる。

事業内容は「緊急的な短期雇用」に7,830万円の予算で、32事業に96名が予定されている。「継続的な雇用機会の創出を図る委託雇用」3,742万円の予算で、雇用者11名(新規雇用1名)。

「緊急雇用助成金」650万円は4月から12月まで、助成額は一般15万円、新卒30万円、人材育成セミナー受講者20万円。対象労働者は60歳未満の仙北市在住者。他に「緊急雇用維持支援事業費補助金」は750万円で、雇用している労働者

マス事業の終了による。商工費は3・9%の構成比率で、予算額は6億6,775万円の措置である。前年度対比も1・4%減となっている。

民生費総額 44億9900万円

社会福祉費 24億3800万円

児童福祉費 14億500万円

生活保護費 6億3800万円

他 1500万円

保育費 職員給与 2億2800万円

手当 9543万円

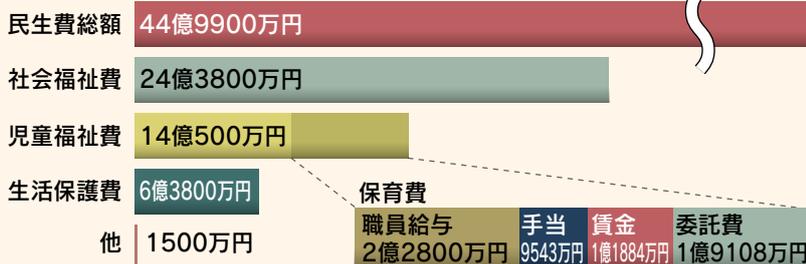
賃金 1億1884万円

委託費 1億9108万円

を一時的に休業させた場合、休業等に係る手当の一部補助。

「勤労者・雇用対策事業費補助金」は、40万円の措置であるが、従業員の技術取得及び資格取得研修の一部助成である。

# 民生費



条例や予算の詳細な審議は、各常任委員会の審議となる。

常任委員会の審査日程は会期15～16日目に行われた。今回の報告は門脇市長のマニフェスト関連予算に焦点をあて、その審議内容を中心に報告する。「所得を生む玉手箱」という総合研究所問題は産業建設委員会。

「地域力ステップアップ」は総務委員会の審議。「こんにはち赤ちゃん事業」は教育民生委員会です。

それぞれ議論された。

### 総務常任委員会

サポートセンター開設し、地域力ステップアップ

市長は市民分権を進めるため、地域運営体を設立し、サポートセンターを開設する予定だが、行政改革方針に逆行しないか。

行革に逆行するとは思わない。最大のネライは地域に密着した形で職員を活用することだ。

モデル事業に田沢地区が決定し、500万円の財政支援がおこなわれるが、どのような内容か。

予算の最高限度額は500万円である。高齢者対策やソフト事業に使用していただきたい。

公募型公共事業選定委員会の予算が措置されたが、道路等の優先度や必要性を審査する委員会というが、議会常任委員会との整合性は問題ないか。

ネライは各地区、団体から要望されたものが、どのように措置されたか見えにくいので、透明性をもった進め方をしたい。建設部が担当する

ので、産業建設委員会の協議になるが、常任委員会との整合性は十分配慮する。

みんなの庁舎検討事業の費用として81万円が措置されたが、公募市民を含め検討委員会を設置予定だが、市議会の関わりについてどうするか。

検討委員会が全て決めることではない。議会の議決を求める場合、3分の2の賛成が必要だ。

議会の考えを問うためにも市民から、市長へ提言等をお願いしたい。

任期付職員採用等に關する条例の制定だが、必要性やその効果をどのように求めるか。

現段階の予定では、

4月からスタートする総合研究所の職員が該当する。新エネルギー分野の活用もあるが、特産品の開発、流通関係、マーケティング活動、新市場開拓などに詳しい方を想定している。桜係も候補となっている。

人件費の抑制や職員削減等行政改革を進めている過程で、任期付職員を配置していくが、職員定数との関係はどうか。

職員として採用するので定数に入る。あくまで職員で対応できない分

小林委員長



地域ステップアップ事業のモデルとなる田沢サポートセンター



浅利副委員長

野に限ってということになる。

仙北市行政組織条例の一部を改正する条例が提案されたが、産業観光部が「観光商工部」と「農林部」に分かれるが部の設置場所はどこか。

観光商工部については中町庁舎、農林部は西木庁舎を想定している。総合研究所は西木庁舎に置く。

### 産業建設常任委員会

所得を生む玉手箱

「総合産業研究所費として378万円が措置されている」

市長の主要施策の一環と考えるがどのような内容で進めるのかを問う。

所得を4年間で10%以上増やすことから、農林畜水産業の収益性の追究が必要である。米、野菜、山菜等を原料に商品開発を行い、地場産作物の栽培需要を高める、ま

たマーケティング業務を行い、売れる農林畜水産物の拡大を図るとともに、在来野菜や、果実の種子の確保、有望品種の試験栽培、適地選定などが「総合産業研究所」の主な業務である。

組織としては、農家、JA、市との間で任意の団体を結成し、各事業の連携を取ってまいりたい。

「総合産業研究所」の設置場所について伺う。

研究所としての建物はないが、現在西木庁舎を考えている。今後人員配置や、冬期間の生産物などの保存等を考慮しながら決定したい。

観光関係については組織機構の改正が提案されているが、予算としては「頑張れ合宿応援事業」に226万円が予算措置されている、この内容と民間との連携について問う。

仙北市内の宿泊者数の増を図るため、延べ50泊以上の運動系及び、文化系の合宿、ゼミ等を行う、高校、短大の生徒に

# 8つの約束

## 76事業と7億6,000万円

# 明日を創る

## 平成22年度



複式学級支援員が派遣される白岩小学校

1泊1千円の宿泊費を補助するものである。事業内容については、チラシ等の印刷、高校・短大・大学への案内、ホームページ等による情報発信などである民間との連携



安藤委員長

問 「がんばれ合宿応援事業」費の、延べ宿泊数が50泊以上で1泊当たり1,000円の宿泊費を補助するところがあるが、その根拠について伺う。  
答 「がんばれ合宿応援事業」の補助根拠については全国の先進地事例の資料から一番多かったものの基準金額である。  
問 東アジア観光宣伝・誘客事業費として246



高久副委員長

万円の予算が計上されているが3県の主要事業の内容を問う。  
答 仙北市において昨年度、海外からの観光客は16,000人と増加しており、宿泊まで結びつけた滞在型の誘客を積極的に行うものである。事業内容は、(1)北東北3県韓国エージェンツ商談会への参加、(2)東

北プロモーションIN台湾への参加、(3)観光ガイドマップ(英語・韓国・中国本土)の作成である。  
問 来年度一般会計予算の中で普通建設事業費は12億6,800万円計上されている。その中で「住宅リフォーム促進事業費補助金」として、3,200万円が措置されているがその具体策について伺う。

答 市民の住宅改善の促進と地域経済の活性化を図るため、市内の事業者を利用した修繕、補修、

増築及び下水道施設への接続工事などを行った方に補助金30万円を限度として交付するものである。  
問 「公営住宅等長寿命化計画策定事業」とは何か。  
答 更新コストの削減を目指すし、住宅の維持管理を計画的に実施するものである。予算は756万円である。

### 教育民生常任委員会

こんにちは赤ちゃん事業開始!

問 次世代育成に力を注ぐ考えで新規事業を立ち上げたが、こんにちは赤ちゃん事業、ひとり親家庭支援事業とはどんなものか。  
答 こんにちは赤ちゃん事業は生後4ヶ月までの全ての家庭を訪問し、不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行う。ひとり親家庭の方は母子、父子のひとり親家庭に対し、その生活の安定を図るため、家庭支援員を派遣するものである。

問 明日の県立高校検討



小田嶋委員長

事業費60万円が予算化されたが、検討委員会の検討結果をどのような形で生かすことができるか。  
答 委嘱する両高校長やPTA関係者、同窓会、校長先生など12人の委員と公募する6人の計18人の委員で4〜5月で意見を集約する。その後市長が6月定例議会に報告することになる。

問 こんにちは赤ちゃん事業費20万円は、対象家庭の訪問活動という内容だが、具体的な対応等に伺いたい。  
答 生後4ヶ月までの乳



整備費で段差の歩道の予定の道路維持の整備費で安全確保される

問 複式学級になるため、非常勤講師の費用380万円が措置されたが、複式学級は一時的か常態化するか。その見通しについてどうか。  
答 白岩小学校は、26年度までの複式でその後は解消。中川小学校は23年度までは複式一学級だが24年度からは複式2学級になる見通しだ。



田口副委員長

# 一般質問

任期最後の一般質問にたった田口寿宜議員は、地域防災問題、真崎議員は、「ずっと暮らし続けたい地域づくり」をテーマに質問を展開した。

門脇議員は、最後の質問で門脇市長の行政運営の考え方を質した。

八柳議員は、緊急経済対策支援について、浅利議員は、旧角館町国保会計の過小課税問題、狐崎議員は明日の高校を考える市民会議について問い質した。田口喜義議員は、市立病院や市民生活の問題点、小田嶋議員は福祉施設の民営化問題、田口勝次議員は「高齢化の進むまちづくり構想」をそれぞれ質問した。

## 防災意識の向上策を問う！ 地域防災組織を育成する



田口寿宜

質問 有害鳥獣による事故防止対策強化と共存の取り組みについて伺う。猟友会員の減少や高齢化、若い会員の加入促進が必要だ。地域住民が安心できる環境づくりは森林の手入れ等自然環境を整えるべきと思うが市長の考えはどうか。

答弁 新たな資格取得は難しくなっているが、新規会員の確保が必要と考える。猟友会と話し合いながら有効な手立てづくりを考えたい。指摘の通り山が荒れている。熊の生息環境を整えるためには人間との共生を常に考える必要がある。危険な際は命を守る対策を講じなければならぬと考える。

質問 異常気象によるゲリラ豪雨、そして地震、私たちは常に災害と背中合わせの生活だ。災害から身を守るため地域防災力を高める必要があると思う。具体的な防災意識の向上策について伺う。またかつての生保内川の水害を風化させない取り組みをお願いしたい。

答弁 異常気象の発生は温暖化に起因していると思う。仙北市としては昨年10月各家庭にハザードマップを配布している。現在381の町内会があるが、自主防災組織を持つているのはわずか29町内会である。これを今後行政との連携で、消防団の協力を得て、地域防災組織を育成する対応策に努めたい。



舞台となった湖畔の宿

有事に備え、全地域に情報伝達の一齐システムを整備し、市民の要望が強い「安全・安心」に対する不公平を是正したい。

## 仙北市の観光のあるべき姿は 観光で潤う町に理解を



真崎寿浩

質問 一人ひとりが観光に関わり担う、という意識を持つことが大切である。観光に携わる住民以外は、観光のまちである事に対する認識が不足している現状において、すべての住民が地域のよさを

理解し、ここに住む喜びが無ければ、観光客に対する「おもてなし」の気持ちは生まれてこないと思う。

質問 観光に対する住民の意識を変えていく必要があると思うがどうか。

答弁 多くの観光客が仙北市を訪れることによって生まれる雇用拡大や税収増加などの波及効果については、観光に携わる方々以外は、そのことを

る。若者が働く場所を作ることが課題である。

アンケートによると65%の若者が出会いの機会が少ないと答えている。仙北市としても出会いの機会を創出する取り組みに努めたい、出会いとなるイベントやメールマガジンの活用なども創出したい。

次世代の育成策として、子育て支援を強化したい。特に仕事と育児の両立に向けた取り組みをする決意だ。

質問 観光振興について伺うが、韓国ドラマ「ア

韓国からの日本を訪れる観光客も大幅に伸びている。アイリス効果を活かして仙北市を売り込みたい。この機会を逃さずに官民協働で取組みたい。また外国語セミナー等も始めたい。

「アリス」の放送により、各国から多くの観光客が訪れている。これをビッグチャンスとして、仙北市が一体となって積極的な取り組みが必要でないか。

答弁 ドラマの視聴率40%を超える大ヒットである。

認識している住民は多くはないと思う。

市民一人ひとりが、仙北市を「観光のまち」として認識し、自分たちも観光に関わり、担うという認識を持って、「おもてなしの気持ち」を常に念頭において観光客と接していただくことが、市民全体が豊かになる観光で潤う町につながることを理解していただきたいと考えている。

**質問** 仙北市の基幹産業である農業と観光の結びつきはまだ希薄と思うが、観光施設でのご飯が全て地元産の米を提供するなど、「食」にこだわりを持つことによる観光地としての特色づくりとしてはどうか。

**答弁** 市内飲食店や宿泊施設へのアンケート調査においても、地産地消に對して割の方が「関心がある」と答えている現状を踏まえ、今後その関心があるという方に対し、如何にして地産地消を進めるか、総合産業研究所が主体となり検討していきたい。

**質問** 抱返り溪谷は年々



整備続行を望む抱返り遊歩道

観光客が増加し、秋の紅葉シーズンにおいては、交通渋滞が発生するなど、観光客に対する受け入れ体制は改善の余地があると思うがどうか。

**答弁** 現在、観光客の車両を受け入れる駐車場として整備する場所が付近にはないことから、交通渋滞は緩和できない状況である。

今後、公共交通機関の利用を促進することにより渋滞の緩和を図り、来てよかったと思われる観光地づくりを推進していく。

**質問** 遊歩道は夏瀬温泉まで全線開通をとの要望が出されているが、今後

の計画は。

**答弁** 早期着手について、秋田県に働きかけをしている整備事業費が15億円にもなると言うことで、要望には応じられないとの回答だ。

**質問** 観光客に対し安心安全な観光を提供するためにも市道夏瀬線の改良は必要と思うが、今後の整備予定は。

**答弁** この道路改良は多額の費用がかかるため市の単独事業では厳しい。国の補助事業も難しいとの考えでいる。

危険箇所については局部改良などを施し、維持管理については万全を期したい。

## がんばる若者の要望になぜ応えない！ 行政は全力で取組む



門脇健郎

**質問** 湯前山の観光施設の指定管理者指定の再募集の進め方は、観光立市をめざす行政のあり方として納得できない。この施設は地元の観光施設を地元で運営する方法は考えられなかったか。市長の見解を聞きたい。

**答弁** 取り組みの経緯からいって、公募や再公募に係る一連の手続きや業務内容は適切に行なわれたと認識している。

指定管理者の選定は本市の条例上公募が原則であり、公平な募集を行ったと考えている。

**質問** 人口減少が著しい仙北市において、若者の定住は全ての施策の原点である。ここに定住してがんばっている若者は仙北市を担う人達でもある。

この若者たちが要望することに仙北市としては優先して応えるべきでないか。

**答弁** 若い方々の夢や希望をかなえるために、行政は持っているすべての機能を発揮しなければなら

らないという考えである。

定住人口を増やす思索については、雇用問題や子育てなど幅広い政策や施策に取組んでいる。また仕事以外のスポーツや趣味、家族と過ごす時間等ワークライフバランスに若者の意識を取り入れることを考えている。

若者の定住対策としてどのような方法、手法が良いか検討していきたい。

**質問** 高齢者の生きがい対策についてお伺いする。先人の方々の業績が礎となって、今日の仙北市があることを忘れてはならない。しかしながら予算や事業計画をみると、そのことを感じさせる施策は見当たらない。

市長は高齢者の生きがい政策のあるべき姿をどのように考えているか。

**答弁** 地域の礎である高齢者の皆さんを敬うことは重要で大事なことです。が、想いや気持ちを表すことが難しいことでもある。敬老思想をいっそう普及する啓発事業に今後取り組みたい。また安全安心なまちづくりを散歩



部内検討を続けているクリオンスプールの改修

に出かけたくなる街づくりなど健康を守る医療機関の充実、地域内福祉サービスの提供を進めこの町に暮らせてよかったという切れるまちづくりで応えたい。

から期間営業している。14年、15年の「プール継続利用」についての陳情は不採択であるが、18年の「新規着工プール」は採択されている。

質問 クリオンのプールの工事施工についてだが、このプールは市で唯一つの温泉プールである。議会は陳情者から新設や改修の陳情を受け、当局の考えを基にして3度採択している。しかしその後の経過について説明がない。

検討委員会の報告を受け、平成20年には、改修して利用できないかさらに政策調整会議で検討している。その結果21年6月に、仙北市のトップ会議でプールだけでなく、クリオン全体のリニューアルの方向付けを検討している。その経過を踏まえ、今後の対応については、平成22年度の早い時期に実現の方向性を明らかにする考えである

答弁 クリオンのプールは施設の老朽化と利用者の減少により、平成14年

長はどのように感じているか

「何か仕事ありませんか」という声が多い。景気悪化の中で雇用をどうするか。

会社が負担する法人税は、自主財源の約45パーセントを占める固定資産税の約半分である。財源確保の観点から、あるいは雇用確保の面でも法人

## 仙北市の経済状況をどう見ているか

アンケート結果に驚いた



八柳良太郎

質問 合併して4年経つが市民の暮らしは良くなったのか。私が実施したアンケートによると、約60パーセントの市民が悪くなったと回答している。このことについて市

に対する支援をすべきである。長引く不況の中、資金繰りに苦しむ中小零細企業に対して、商工会の経営指導も入れながら、国の緊急経済対策策資金を利用しやすくするよう金融機関に対し要望していただきたい。

答弁 12月期の調査で製造業、建設業は総じて厳しい状況下におかれている。雇用面も12月期あるいは対前月比においても芳しくない状況だ。

仙北市が誕生して、60パーセント生活状況が悪くなったというアンケート結果や仕事がないという指摘に責任を感じる。

中小企業支援について、仙北市として金融機

関に融資の働きかけをする。また解雇予防として、助成金制度を活かし、雇用機会を増やしたい。

質問 所得10パーセントアップを掲げるマニフェストであるが、観光客の誘客増が必要と思う。やさしい丁寧なサービスが初めての観光客をリピーターに変える。

武家屋敷観光の滞在時間は平均40分といわれる。観光客の高齢化が著しい中、この地域で経済波及効果を上げるには、駐車場の位置が問題である。駐車場が見えるところにあることが理想である。

この土地利用の全体計画について伺いたい。ま



弘道書院の復元計画が示された伝承館前広場

た現在何か使用目的があるのかも併せてうかがいたい。

答弁 観光客の誘客については、全国的に減少傾向にあるが、外国人観光客は増加している。今後は戦略会議を設置し、具体的な対処をしたい。

伝承館前広場に弘道書院を建設する予定である。大型バスの乗降は桜並木駐車場をお願いしたい。

質問 人口減少、少子高齢化の中、仙北市として「男女出会いの場」のイベントを行なう考えはないか。

答弁 男女の出会いの場を創出にあたっては、結婚相談のアドバイザーを

## 消防団の報酬は適正か

出動費については検討したい



浅利則夫

して、市民や納税者が納得できる説明とそして報告が必要と思うかどうか。

質問 旧角館町国保会計における過小課税問題について不明な点が多々ある。

詳細な実態調査を実施

国への返還金2,319万3,140円はどうか。考えても納税者が負担すべきものではないと考える。市長の御所見と今後の対応について伺いた



認定こども園に移行できるか注目される  
にこにこ保育園

い。  
**答弁** あるべき書類がなく、その他の関係書類も全て調査したが、調定額が減額された金額と国保税更正何いとの相違している部分の解明には未だ至っていない。会計検査院もまだ継続して調査が行われており、結果報告までにはもう少ししばらく時間を戴きたい。不安やご心配をかけ、それに対する十分な説明や報告がまだできないことにお詫びを申し上げたい。

て3月末までに納めていただくことになるとの連絡を受けていて、予算措置をお願いしたところである。会計実地検査から1年以上も経過していることから、事実解明に全力を挙げ、自体の早期解決に努めて参りたい。  
**質問** 仙北市消防団員の報酬について伺う。国は消防団員一人当たり年間3万6,500円の報酬費を交付していると聞いている。適正な報酬費に改正すべきと考えるが、その見通しの是非について市長の見解を伺う。

し、非常備消防に掛かる人員・設備等を定めた上で、仙北市の人口・人口密度などの地域差を補正し積算されてきている。標準の36,500円に対し、各種補正係数等により22,326円という算入額に留まっているのが現状である。県南3市町を比較すると報酬費では平均より若干高いが、出勤で若干下回っており、出勤費については今後検討して参りたいと考えている。

**質問** 西木町のにこにこ保育園を認定こども園に移行するために、どのような検討をしたか。その内容と今後、認定こども園とする取り組みについて市長の御所見を伺いたい。

**答弁** 「にこにこ保育園」は保護者の要望が高いことや、県の指導を受けて実施した「幼保一体型指導計画の作成」の研究事業の成果などから「認定こども園」への移行しやすい環境にあると認識している。国も幼保一元化の制度改正を進める方針を決めたいという情報もあるので、今後の動向なども注視しながら進めて参りたいと考えている。



6月まで結論を出すことになった  
県立高校統合問題

**質問** 「明日の高校を考える市民会議」について伺う。委嘱する委員12名の内訳はどうか。

**答弁** 学識経験者1名、学校長2名、同窓会代表2名、PTA代表2名、連合PTA1名、校長会代表2名、教育委員長と教育長である。  
**質問** 公募する6人の選考基準は何か。

**答弁** 教育委員長が座長で、総務部長、教育次長、企画政策課長、重点プロジェクト推進室長5人で構成する。選考基準は職歴や活動経歴、応募の動機等を選定基準とする。  
**質問** 公募と委嘱する委員の数がアンバランスだ。公募が少なすぎると思うがどうか。

**答弁** 公募がすくなくないと言いますが、両高校に関連する委員が6人、教育関係者5人、公募6人とバランスはとれている。  
**質問** 結論が6月では拙速すぎないか。また4月異動期で機能しないと思うがどうか。

**答弁** 私は長くこの問題に関わってきた。市長という立場で言えば、「議論が長引くことは、子供達のためにも地域のためにも良くない」。

**質問** 第6次整備計画(案)に仙北市の意見を反映させるといいますが、教育民生委員会は理解しているか。

**答弁** 委員会に経過報告はしている。また情報提供もしている。市民会議の意見集約を図って、委員会と協議する。

**質問** 市民会議の結論は高校統合をどうするかだ。門脇市長自身は、学

校格差よりも学校建築が優先か。

**答弁** 私は長くこの問題に関わってきた。市長という立場で言えば、「議論が長引くことは、子供達のためにも地域のためにも良くない」。

議会特別委員会の結論のように、仙北市、仙北市教育委員会、県教育委

会

員会と同じテーブルにつき、将来に向けて検討すべきと思っっている。

**質問** 市民会議の持ち方だが、市民が傍聴できるように配慮していただき

**答弁** 市民会議委員の意見を尊重して期待に添えるよう調整したい。

**質問** 白岩の燈火祭の参加者が少ない理由に、仙北市の広報に掲載されなかったという声があった。協働という精神からすればおかしいと思う。職員に協働ということばが理解されていないのではないか。

**答弁** 融和と協調を基本に行政が市民の活動を支援する機構改革を実践す

## 夜間の急患対応の時間延長は市民の期待に応えたい



田口喜義

**質問** 市立田沢湖病院の経営改善に向けての点検評価と、医師確保（4月1日より秋山医師が副院長として採用）により障

る。その手法として地域運営体の設置を準備している。

**質問** 駒ヶ岳の女岳の温度が上昇し、噴火の可能性がある。風評で観光客がこの地域に来なくなると。その対応策は観測態勢をしっかりとすることだと思いが市長はいかがか。

**答弁** 駒ヶ岳の噴火警戒レベルの導入は平成21年10月27日だ。レベル1の平常である。監視体制は気象庁、東北大学、国交省の3機関で監視している。情報を的確に速やかに伝えることで、風評被害は最小限、未然に防げると思う。

**害者施設等一般病棟化の継続と夜間の急患対応について、継続と時間延長は可能なのか。**

**答弁** 経営改善のため病床利用率の悪化を食い止めるため障害者施設等一般病棟化を開始し、病床利用率70%を確保し、大幅な収益増につながって



医師の増配置が決まった市立田沢湖病院

いる。

しかし、常勤医2名での病床利用率70%を確保することは、医師の多大な過重労働が掛かっている。4月から医師の充足により労働環境の改善が図られたときには、若干の入院患者増も見込める

とし、更なる収益増につながるから、当面はこの状態を維持して病院の体力を付けることが最善と考えている。

夜間の救急対応については現在午後7時15分までの対応となっている。

当直勤務は大学からの非常勤医師による対応が大きいことから医師1名増員されても、非常勤医師に頼らざるを得ない状況である。

時間延長については、当病院の医師と大学からの派遣医師との調整を早急に進め、市民の期待に応えて参る。

**質問** 生活基本である市民の交通確保についてどうが、高齢化に伴い、一人暮らしや老夫婦の方々の病院や買い物等の支援について、特に冬場においては、交通機関の乗場まで行き着くことが困難な方々がとても多く、高齢者のサポートとして戸口から戸口までの足の確保はできないか。

**答弁** 本市の行政区域は広く、目的まで数回乗り継ぎが生じたり、自宅から停留所まで1キロメートルの地域もあり高齢者への早急な対応が求

められている。田沢地域において、高齢者の依頼を受けて、代行して買い物を行い届けるというサービスを始め動きもある。

新年度において、地域交通支援係を設置して高齢者や障害者の方々に移動の不便を来しているかの調査を考えている。

**質問** 今年の大雪は高齢世帯にとって辛い年だった。雪力キ券（有料ボランティアも含）を発行してその日のうちに対応する対策はできないか。

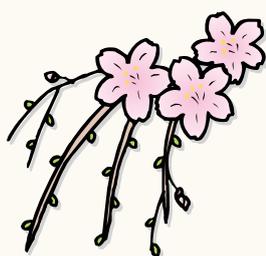
**答弁** 新しい提案であり実施するためには個々の調査が必要である。今後対応の仕方を検討する。

**質問** 市民参加のまちづくり、市民が主人公の行政について、市民参加は市民がいつでも、だれでも参加できるかという課題がある。だれでも市民

参加できるには役所の実態やその他多くの情報を市民に知らせ、これであるのかという意見を聞くことである。北海道の二セコ町では具体的な予算の内容（もつと知りた今年の仕事）を町民に知らせる説明書を配布している。

**税金がどんな使われ方をしているか、町の課題や問題点、疑問点を発見しよりよいまちづくりのための議論の一助として活用しているのを仙北市でも情報提供のため発行できないか。**

**答弁** 情報提供については、行政懇談会などあらゆる機会をとらえて提供している。広報も月2回にしてきめ細やかにお知らせをする。市民向けの予算書は検討して参る。



# 老人福祉施設の民営化はなぜ必要か？ 行財政改革の断行が必要



小田嶋忠

市長は「終の棲家」ということばをどのように受け止め、どのように感じているか併せて伺う。

質問 養護老人ホーム「角館寿楽荘」、特別養護老人ホーム「桜苑」の民営化については、市長のマニフェストに記されていない。今、あえて民営化する理由は何か。その理由について伺います。

現在多くの人達は、養護老人ホームや特養ホーム等で過ごし、そこは「終の棲家」としている方々である。



平成23年度に民営化される予定の「桜苑」

「終の棲家」については、老人施設あるいは病院で亡くなる方が多いということは指摘の通りである。しかし法令等に基づくかぎり、「終の棲家」ということばは適切でないと思う。寿楽荘は自立者の生活の場なので、自立できな

ければ退所となる。したがって「終の棲家」ということばには、あてはまらないと思う。

質問 入所者の説明会で、市民に問うべきだという声があったと聞くが、どのように対処されるか伺いたい。

答弁 市民を代表する議会に説明し、協議するという話をした。

質問 今後新設する特養は、「小規模生活単位型」が基本で、現施設も個室ユニット型に整備しなければならぬと聞いているがどうか。またその場合は入居者負担は増えると思うが、従来型と比較して非課税世帯で一ヶ月1万5000千円、年金収入が80万円を超え、266万円以下の第3段階では、3万9千円負担増となる。家計を益々圧迫することになる。どのように考えるか。

答弁 秋田県が策定している社会福祉施設等の施設整備における基本方針では、養護老人ホーム、特養老人ホーム等新設はユニット型とすると規定されている。

特別養護老人ホームを新設整備した場合は指摘のような高負担になると思う。

質問 民営化を進めるためには納税者であり、受益者でもある住民が十分な情報を共有し、意思決定に参加して議論に加わることが不可欠である。財政再建や効率化あるいはサービスの向上と、いろんな理由が付けられるが、何でも民営化では理解できない。公的な役割を構築すべきと考える。

当局の賢明な対応を要望する。答弁は伺えない。

## 道路行政の怠慢でないか！ 県と再協議する



田口勝次

質問 高齢化が進む中で「まちづくり」は、市長のいう安心・安全がテーマとなる。

克雪対策は雪国にとつて将来にわたる課題といえる。従来の対策だけでは不安が増すことにな

質問 職員の労働時間短縮について伺う。

平成21年10月9日に県人事委員会は、職員の給与等に関する勧告を行った。その中に、勤務時間の改定があるが、仙北市は実施していない。その理由を伺いたい。

答弁 仙北市の勤務時間の短縮の導入については、行政サービスや行政コストへの影響や他市の実施状況を踏まえて、検証した上で、支障がない場合導入する。平成22年度中に確認できれば、23年度中に導入したい考えである。

る。高齢者個々の事情に見合ったキメ細かな行政支援が制度的に必要と思うがどうか。

お医者さんや交通機関に近い便利な場所に、高齢者専用の住宅を官民協働事業として取組む気はないか。

歩行者に優しい街路づくりが必要と思う。歩道の安全性に留意した道路行政はどうか。

答弁 克雪対策はご指摘にあるいずれの問題点も行政が解決すべき課題といえる。地域住民の協力を得て、高齢者の実情をよく調査して、社会安全システムをつくらなければならぬ。また助成制度や要援護制度も必要と考えている。

高齢者町営住宅は仙北市の住宅政策として検討したい。

歩道の関係についてはまちづくりという観点でとらえ、生活者、高齢者が散歩に出かけたくなるまちづくりを目指したい。

質問 観光商工部に組織を改めたが、まずは行政にその理念、哲学が必要でないか。仙北市を背負っていく仕事人が配置されなければならないと思うが、どのような組織体制を考えているか。戦略会議とは何か。

角館は「桜と武家屋敷」だけでは集客力は年々落ち込む気がする。

将来に向け、「地域丸ごと観光」を標榜したらどうか。まち研の蔵伝、紅そば栽培など地域丸ご

と観光は、地域の人達が  
主役になる。行政のしつ  
かりしたフォーローが必  
要だ。

**答弁** 観光商工に対する  
想いは、実は仙北市の総  
合産業分野の中核と位置  
づけており、持ち味を活  
かすスペシャリストを配  
置したい考えだ。

観光の現状を打開する  
ため、観光産業拠点特別  
区推進事業を進める。蔵  
伝は今後のまちづくり  
にとって意義ある事業で、  
成果があった。次世代に  
継承する価値がある。

町屋・古民家など「生  
活文化財」を残し、まち  
の活性化に活かしたい。

**質問** 駅周辺のまちづく  
りだが、駅前や駅通りが

このままの状態ではよいの  
か。JRや内陸線を活か  
す意味で、駅前に市立角  
館病院を移転したらどう  
か。

**答弁** 駅東西通路は調査に進  
むと理解しているが、市  
長の考えはどうか。

**国道105号線から県  
道広久内線の改良が進ま  
ないが、その必要性につ  
いてどのように考えてい  
るか。安心・安全に最も  
適していない道路状況で  
ある。道路行政の怠慢と  
指摘せざるを得ない。市  
の考えを聞きたい。**

**答弁** 駅前、駅通りの活  
性化に市立角館病院の移  
転をとの提言だが、候補  
地の一つと考える。

県道広久内線の改良

危険性が潜んでいる  
狭隘な歩道の県道広久内線



危険性が潜んでいる  
狭隘な歩道の県道広久内線

は、歩道改良、危険踏み  
切り解消を県と再協議  
し、安全確保を最優先し  
て取り組む。また住民に  
経過を説明せずに来たこ  
とをお詫びする。

**駅東西自由通路につい  
ては、仙北市の総合計画  
に組み込まれており、土  
地利用など基本的な調査  
を経て決定したい。**

**一般質問を終えて**

**(田口 寿寛)**  
門脇市長に対して、初  
めての一般質問。入念に  
準備をし、気合いを入れ、  
質問を行った。

本音で議論をすること  
ができ、充実した内容に  
なったと思うが、反省す  
べき点もあった。改めて、  
一般質問の難しさを学ん  
だ一日だった。

**(真崎 寿造)**  
仙北市における観光の  
あり方について質問しま  
したが、住んでいる私達  
住民が、地域に対する満  
足感がなければおもてな  
しの心は生まれません。  
ずっと暮らし続けたい  
という思いがもてる地域  
づくりが必要です。

**(門脇 健郎)**

私は市民の声の代弁者  
です。私の質問は市民の  
質問です。答弁した事件  
については責任をもって  
対処しなければなりません。  
検討しますで終わる  
ようでは偽政者として適  
任者とは言えません。検  
討した結果を市民に公表  
する義務を怠ってはな  
りません。

**(八柳良太郎)**

合併後の暮らしについ  
て独自に実施したアン  
ケートで「悪くなった」  
が60%程であった。  
びっくりしている市長  
と私の認識している現実  
とは差がある。  
しかし「市民の暮らし  
をよくしたい」思いは同  
じ。今後も頑張りたい。

**(浅利 則夫)**

旧角館町国保会計の過  
小課税問題の質問に対し  
て全力で真相の究明に取  
り組むという答弁、それ  
以上の中身を引き出せな  
かった自分の非力を強く  
感じたと同時に、市民に  
負担の転嫁無しな解決方  
法を探る決意も強くした  
次第である。

**(狐崎 捷琅)**

一般質問は、住民の願  
いや要求、質問者の考え  
を、住民の目の見える場  
所で発言できる良い機会  
だと考える。でも、この  
一般質問が軽視されがち  
だと感じるのは私だけで  
しょうか。一般質問は住  
民が常に見ている。常に  
責任のある回答を切に望  
む。

**(田口 喜義)**

この4年間で10回の一  
般質問が出来た。  
田沢湖病院の存在に関  
する質問と提案が主なも  
のになった。  
市民が安心して暮らせ  
る(高齢化が進んでも)  
事と働く場の創出のため  
議員活動を通して、積極  
的に行動して参ります。

**(小田嶋 忠)**

新設する特別養護老人  
ホームは「小規模生活単  
位型」が基本であり、現  
在の「桜苑」は4人一室  
ユニット型です。今何故  
民営化、民間委譲し改修  
等を認め、利用者の個人  
負担を増加させなければ  
ならないのか不可解であ  
る。

**(田口 勝次)**

議員生活最後の一般質  
問は「高齢化が進む中  
のまちづくり構想」につ  
いて取り上げた。  
課題は何と云っても  
「雪とのたたかい」であ  
る。そして高齢者に優し  
いまち、利便性の高いま  
ちづくりを質問したが、  
時間がなく不十分に終  
わった。



# 地域経営の最終責任は 議会にあり！

任期最後の議会の最終日に、議会基本条例案が提案された。

これまで議会改革推進協議会（代表佐藤直樹）を設置して、北海道栗山町の条例を研究してきたものであり、条例制定のネライは、「今の議会の状態では地方分権に対応できない」。「議会改革で、議会のあり方を変えよう」ということだった。佐藤議長、浦山運営委員長、大山議会事務局長に語っていただいた。

司会 議会基本条例に何を期待するか。また新たな議会運営により議会はどう変わるか。地域はどうなるか。期待の程を伺いたい。

佐藤 地方議会の改革は、地方分権が進んでいる今、必ず取組まなければならぬ課題であり、地域振興の前提となる。

浦山 二元代表性の実現のため、市民の思いを伝える合議制の機関の確立

は地域にとって必ずプラスになる。

大山 国の地方制度調査会の答申に、今後の議会の姿が示されており、条例制定はタイミングが良いと思う。

司会 次に栗山町は常に行財政改革を進めており、執行部できている。執行部できちんとした財政論議ができる体制にあるようだ。仙北市議会はこの点にどうですか。

浦山 委員会制度、会派



基本条例を提案する浦山議会運営委員長

制度の基本的な理解が前提になる。今後は認識を共有しながら会派や委員会での論議そして議会全体へと波及するような取り組みが必要と思う。

佐藤 条例制定だけでは意味がない。この条例の具体的な運用には、議員個々の研鑽と議会全体の意思決定が不可欠だ。議会総体が強い覚悟と決意をもたなければダメだ。

大山 私には答えにくい質問だが、とにかく自治法関連の知識、議会に関する例規の基本的な理解が求められると思う。

司会 基本条例を制定し、議会を変えるという

ことは、新しい議会像のイメージを抱くがどのような議会をめざすのか。

佐藤 地方分権は、地方政府という概念を基本にしながら進むと思う。その中で議会に求められるのは、監視機能の強化はもちろん立法機能と政策提言能力だ。

二元代表の一方の市長側は立法機能や政策作成能力の向上に向けて体制を整えている。このままではギャップは広がるばかりだと思う。ギャップを乗り越え、市民のための具体的な政策を提案し、実現させることです。

浦山 議員全員が議会改革に全力を尽くして、市民とともに歩む議会をめざすべきだと思う。

司会 住民とともに歩む議会、住民と一緒にやって議論する議会とか、耳ざわりの良い言葉が多いが、住民は議会の何に期待すればいいの。

大山 やがて訪れる自治制度の変化に、今回市議会がソフトウェアングできるような条例を作った。このこと自体が住民の期待に応える下地になると



基本条例制定を話し合う議長、運営委員長、大山事務局長

思う。

浦山 条例の大きな特徴に、議員一人ひとりが持っている課題を議員全員で議論しようとするものです。このような取り組みも住民の期待するものの一つです。

司会 行政改革も議会改革も終わりなき戦いといわれる。今度の選挙は定数22人を選ぶ選挙だが、議会の意思決定をどう進めるか。また会派はどうするか。

大山 会派は条例実行の大切なキーワードです。今までの会派運営を検証

して見る必要がある。

浦山 議会の意思決定は自由討議中心に行なうこと。議員相互間の議論を尽くすことが条例に規定されている。これは議員個々の前向きな取り組みが必要である。

佐藤 もちろん改革は、継続的なものでなければならぬ。自治体を取り巻く環境を考えると、今回の取り組みは、ほんの序章に過ぎない。時代が私たちに与えた重く、大きいものがある。

司会 本日はありがとうございました。

# 4年の歩み

## 仙北市議会



国会訪問 菅総務大臣



H18 当選後の初議会



会派研修視察－翠巒会



竣工なった統合角館小学校



平成 19 年 冬季国体田沢湖会場



さようならお別れ会－西長野小学校閉校式



内陸線の乗車促進調査



内陸線調査で新駅の設置を検討



初当選後 佐竹知事を囲む会



行政改革特別委員会研修視察－東根市



勇退議員議場をあとに



石黒市長最後の定例会

## 4年を振り返る



門脇新市長最初の議会

平成18年の市議会議員選挙の激戦を制して当選した24名の議員は、5月9日の臨時議会に晴れ晴れとした顔で勢ぞろいした。月日の流れは早いもので、あれから4年、瞬く間に4年の任期は終わりに近づいた。この4年間、私たちが取り巻く政治情勢は大きく変動した。佐竹知事の誕生は仙北市の将来へ弾みをつけた。国の政権交代は大きな驚きであり、戸惑いとなった。仙北市長の交代劇は皆さんの記憶に新しいところである。議会の今任期の思い出を写真で追ってみたがいかがでしたか。

### 行政改革特別委員会報告 活力を取り戻す強力な改革を！

定例会初日に行政改革調査・研究結果が報告され全会一致で了承された。行政改革特別委員会の設置は、合併により肥大化した福祉部門の人員費比率が論点的となり、平成19年3月議会に行政改革特別委員会（委員長田口勝次、副委員長大石温基）を設置した。19年8月に中間総括を行い、委員会は引き続き調査研究を繰り返した。今年1月に特別委員会として調査結果をまとめたものである。

当初の目的どおり、福祉部門を課題と位置づけ、福祉施設現場との話

「にしき園」については、平成24年度に方向が示されることになった。特別委員会は、議員報酬引き下げや定数の削減について提起し、激論の末8%の報酬引き下げと定数2名削減を決定した。

現行の保育園の経営形態の違いが課題として残されている。

「会社の経営見通しがたないまま存続はできない」という結論はいつの間にか消されていった。

### 内陸線存続調査特別委員会 今後の対応は改選後の議会構成で！

秋田内陸線の当初の利用者は100万人を越えていた。平成19年度では44万人台まで落ち込んだ。経常損失も2億6千万円に達していた。さらに9億円に及ぶ

安全対策工事費用の負担が問題となっていた。平成20年6月定例会において、内陸線の今後のあり方等について調査をする特別委員会を設置されたのである。

平成20年11月25日の議会全員協議会では向こう5年間の「再生計画」について議論した。経常損失の負担割合を見直すことや公有民営化方式の結論、観光路線化への転換等方策について協議することだった。

その上で「存続」、「廃止」を決定することを合意したはずである。しかし知事や仙北市、北秋田市の両市長も変わり、5年間という三者合意の決定事項を無視し、公有民営化方式を断念して、四者で新たに「存続を前提」とする対応策が突然公表されたのである。

前知事、前市長との議論と全く違う方向付けがされたのである。「会社の経営見通しがたないまま存続はできない」という結論はいつの間にか消されていった。

特別委員会は「改選後に新メンバーで慎重に協議する」ことを確認して、2月定例会で特別委員会の調査を終了したことを報告した。

**教育委員  
全会一致で可決**

議会最終日に教育委員の任命につき同意を求めることが提案された。

熊谷徹氏（58歳）は角館町岩瀬168番地に在住。門脇市長は仙北市の教育行政に欠かせない人と提案理由を述べた。

起立採決の結果、議会は全会一致で同意した。（経歴）

- ・昭和49年秋田大学教育学部卒
- ・昭和49年〜平成10年小中学校勤務
- ・平成11年〜22年3月教育事務所勤務



オリンピックのフィギュアスケートに見入る議員各位（控え室）

**バトンタッチ**

今任期を最後に、仙北市議会を去る議員は全部で7人いる。

この4年間は合併前の旧町村に引き続き、仙北市の議員として活躍した方々である。

バトンを受け継ぐ後輩に、明日の仙北市の発展を託して議場を後にした。



門脇 健郎

仙北市の課題は多い。新進気鋭の市長とともに、多くの資源を活かして、市民総参加で、展望を切り開いていただきたい。



浦山 敏雄

仙北市議会の基本条例が決定された。今後はこれを基本とし、更に議会の機能を充実させ、仙北市の「まちづくり」を！



澤田 信男

ボール送り競争というのがある。頭上のボールを落とさぬように受け取り易いように次の人に渡す。まさにその心境だ。



藤原 万正

明治維新以来の変革の時代、「の方向に向かうかが問われる時である。環境に対する意識の高揚を訴え、環境第一の政策に期待します。



田口 勝次

生まれ育った大好きなこの町で、30年もの長い間、議員活動ができたことは私の誇りであり、心から感謝いたします。



平岡 均

26歳で初当選以降、多くの皆様のご支援を得て、重責を果たすことができました。ありがとうございました



戸澤 清

議員の意識と行動により、行政の内容は大きく変わる。これからは協調の時代、開かれた美しい仙北市を目指して欲しい。

**2年間のご愛読  
ありがとうございました。  
ございました。**

**編集後記**

議会だより18号（今回）は、年度の関係で3月31日までに発行しなければならぬという制約がある。通常であれば議会終了後一ヶ月程度あるのだが今回は15日間程しかなかった。

この議会だよりの原稿は広報委員が手分けして書くことになっているので、迫っている4月4日の告示の議会議員選挙の準備はしなければならぬし、議会だよりの原稿も書かなければならぬ。広報委員でない議員は思い通りの選挙準備をしていると思われ、選挙の年の広報委員には、選挙管理委員会から50票位のハンデをつけてもらいたい位の気持ちになる。

現在の広報委員メンバーが編



集に関わったのは11号からなので今回で8回目になる。一時、予算の関係で表紙以外は2色刷りになるし、紙質は落ちるなどで見映えがしない時期もあったが、現在はオールカラーで紙質も良質になったので写真もきれいに刷り上がるようになった。

この号がお手元に届く頃には選挙運動一色になっていることと思う。ご愛読ありがとうございました。